

## 「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」の設立について

### 1 概 要

宮城県では、近年多発する豪雨災害への対策として、水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用し洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組を推進することとしており、今般、取組の拡大に向け、下記のとおり「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立します。

本コンソーシアムは、「田んぼダム」の効果や適地の検証を行うとともに、普及に向けた多様な課題を積極的に解決することで、「田んぼダム」の取組拡大に寄与することを目的としています。

2 日 時 令和3年6月14日（月） 午後2時から3時15分

[設立総会] 午後2時～, [現地研修] 午後3時～

3 開催場所 [設立総会] 宮城県古川農業試験場 大会議室（大崎市古川大崎字富国88番地）

[現地研修] 千刈江地区実証ほ場（大崎市古川塚目地内 下図参照）

4 主 催 宮城県、大崎市

5 内 容 [設立総会] コンソーシアムの立ち上げ

[現地研修] 堰板設置式

スマート田んぼダム実演（自動排水栓）

6 出席者 大崎市長、色麻町長、加美町長、涌谷町長、美里町長

関係土地改良区理事長、関係農業組織代表

宮城県農政部長、北部地方振興事務所長

7 そ の 他 雨天決行

【開催場所位置図】



## 大崎市 田んぼダム推進事業

### 【事業目的】

近年、全国各地で毎年のように大規模な洪水が発生しています。本市でも平成 27 年関東・東北豪雨、令和元年東日本台風で大きな洪水被害が発生しています。

このような状況から、本市では流域治水の一つの対策として、水田の持つ雨水貯留機能を活用した「田んぼダム」を推進し洪水被害の軽減に取り組みます。

### 【取り組み】

#### ○実証ほ場の設置

- ・市から土地改良区を通じて農業者に田んぼダム用ロート型堰板を支給。
- ・300ha を目標に実証ほ場を設置。

#### R3 実施地区

美里東部土地改良区管内

鹿島台地域 本地環境保全協議会 71ha

江合川沿岸土地改良区管内

古川地域 狐塚保全会 57ha

田尻地域 中目地域環境保全推進協議会 131ha



#### ○観測調査・効果検証

- ・実証ほ場の排水路で水位観測等の調査を行い、効果を検証する。
- ・適地マップの作製・田んぼダム実施時のシミュレーションを検討。

#### ○世界農業遺産の現代版巧みな水管理として普及促進

- ・田んぼダム推進用パンフレットの作成・配布。
- ・多面的機能支払交付金活動組織への啓蒙普及。
- ・市内の小学校、中学校を対象に体験学習を実施。

